

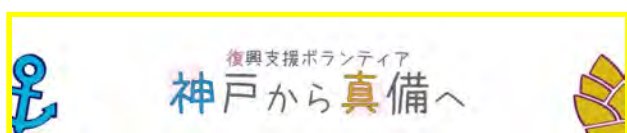
おたがいさまプロジェクト 活動報告書_2021年度_8月

被災支援ボランティア団体
「おたがいさまプロジェクト」



被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」の
2021年8月の活動報告になります。
緊急事態宣言で被災地に伺うことができないなか、神戸でできる
復興支援として、泥で汚れた写真を洗浄する写真洗浄を行いました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しての活動となりました。



活動場所被災地情報

・令和元年台風19号による被害等（2019年10月）

台風19号では、死者90名、行方不明者9名、住家の全半壊等4,008棟、住家浸水70,341棟の被害が。栃木県では死者4名、住家の全半壊等1,264棟、住家浸水13,200棟の被害。

<台風19号被害の特徴>

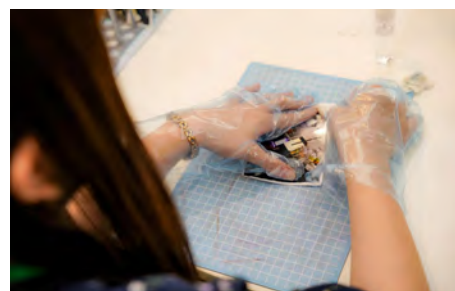
- ・年代別の犠牲者を近年の災害と比較すると、60代以上の被害が多い。また、屋外で犠牲になった比率が高い。洪水関連の犠牲者が多い。
- ・「洪水」「河川」犠牲者の5割強が浸水想定区域内。
- ・ここ5年間の水害・土砂災害の中で死者数・行方不明者数が2番目に多い。

<栃木市において>

栃木市では、台風後人口が大幅に減っており、特に浸水被害が大きかった地区では100人以上も減少。高齢化も著しく、自治会関係者らからは「コミュニティーを維持できなくなる」と不安の声が漏れている。

1.写真洗浄

日時/場所 ボランティア数	8月 1日（土） 10:00～12:00 / 13:00～15:00 @神戸市青少年会館 / 計18名 8月 8日（日） 13:00～17:00 @神戸市青少年会館 / 計40名
受益対象地域/数 作業枚数	栃木県栃木市（令和元年台風18号） / 約10名 453枚
支援・協力団体	真備町写真洗浄@あらいぐま岡山（作業指導等） / 神戸市社会福祉協議会（協力） / 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸（協力）
その他	コープともしびボランティア振興財団 / しみん基金・こうべの助成事業です。
内容	①写真洗浄 ②防災セミナー
詳細	<p>① 写真洗浄</p> <p>※写真洗浄とは</p> <p>「写真洗浄」とは、自然災害の中でも、主に水害によって汚れてしまった写真を1枚ずつ丁寧に洗浄する復興支援活動です。</p> <p>具体的には、汚れてしまった写真はバクテリアが周りから浸食して白くなり、やがて写っているものが見えなくなってしまうため、水とエタノール水溶液を使って洗浄します。</p> <p>この活動は、力仕事に自信がない方やボランティア初心者に向いています。</p> <p><活動の成果></p> <ol style="list-style-type: none">1. 被災者の思い出を守り、復興支援への後押しをすることができた。2. 写真洗浄ボランティアを世間に広める一助となった。3. 被災地ではない地域で、復興支援を行えた。4. 過去の文化財（写真）の遺失を防ぐことができた。5. 写真洗浄を通して被災地の現状を伝える事ができた。6. 被災地の現状を伝えることで、災害の風化を防ぐ一助となった。7. 地元の支援団体と協同活動することで、防災への連携強化に繋がった。



遠方でも出来る復興支援

体力には自信が無かったり遠方で行けなかったりするが、「被災地の役に立ちたい」という多数の声を伺い、地元で復興支援が出来ないかと本企画を立ち上げたところ、ご年配の方も含め、多少の障害を持っている方や親子連れの参加もあり十分な手応えを感じおります。※活動にあたり、写真洗浄の第一人者である「真備町写真洗浄」様に写真提供やアドバイスを頂きました。

学生と手を取り合って

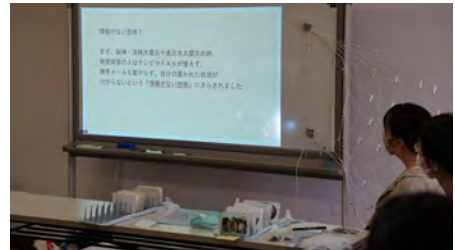
8/8は一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸さま、神戸市社会福祉協議会さま主催の「学生災害ボランティア・ネットワーク事業」において出張の写真洗浄を行いました。被災地支援がはじめての学生の方向けに、写真洗浄を通して思いやりの大切さを伝えることができました。

② 防災セミナー

「聴覚障害と防災」

当団体ではこの機会に防災や減災についても考えていただくため、毎回初心者向けの防災セミナーを企画しております。

このセミナーは基本的に学生の発表の場として学生メンバーに行ってもらうのですが、今回は高校生の藤田さんに聴覚障害の防災についてお話をさせていただきました。藤田さん自身も軽度の聴覚障害ということもあり、自身の経験を通して普段私たちが当たり前のように生活していることが聴覚障害の方にとって大変な世界であることを教えてください、また被災時にどのように伝えればスムーズな避難につながるかをみんなで話し合いました。

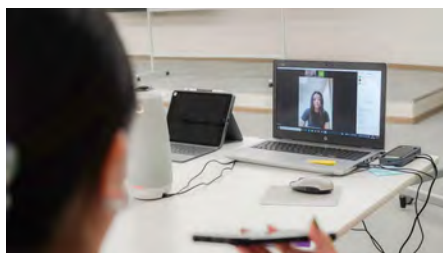


「被災地とつなぐ」

8月8日は、当団体と繋がりがあり、西日本豪雨の被災者（被災当時高校3年生）だった井上望さんからオンラインで被災当時のお話を伺いました。被災支援が未経験だった学生の方にとって、同年代の苦しい体験は深く心に伝わったようで、アンケートの半分以上が望さんのお話でした。

<アンケート抜粋>

人にどんな形であれ、寄り添う気持ちを持つことの大切さや被災された方々のことを想像しながら常に行動していくことは今後活動して行く上で非常に大切なことだと感じました。



所感

【活動を通じて】

緊急事態宣言が再度宣言されましたが、参加者全員がコロナ対策を徹底し、無事今月も被災地支援活動を行うことができました。

被災地から遠く離れた場所でもできる写真洗浄ですが、写真に込められた大切な想いはボランティアさんの心を大きく動かすことができます。その思いが防災や減災につながり、思いやる気持ちを育むのだと実感しております。



【地域、学生と手を取り合って。】

8月8日に行った「学生災害ボランティア・ネットワーク事業」においては、初めて大学コンソーシアムひょうご神戸さま、神戸市社会福祉協議会さまと連携をとることができた重要なイベントでした。

防災や減災、被災地支援においては地域や行政との日頃の連携が不可欠です。

これからも些細な活動ではありますが、温かい社会を目指して全力で取り組んでいきます。

最後にこのような状況下で活動が続けられるのも、[しみん基金・こうべ様]、[真備洗浄@あらいぐま岡山様] [コープこうべともしび助成財団様]、そしてご支援頂いた皆さま、ボランティアの皆さまのおかげでした。

心より感謝をしたいと思います。

本当に有難うございました。

おたがいさまプロジェクト代表 大竹

ボランティア アンケート

望さんの話を聞いて被災してから立ち直るのは難しくて気力のあることだと知りました。

人にどんな形であれ、寄り添う気持ちを持つことの大切さや被災された方々のことを想像しながら常に行動していくことは今後活動して行く上で非常に大切なことだと感じました。

望さんの話を聞いて、悪意はなくても何気ない言葉が被災者を傷つけるかもしれないことを知った。

今回の井上さんのお話を聞いて被災者の間でも生活に大きな差が生まれるということを知り、もっと被災された方のお話を聞き深く考えていきたいと思った。また写真洗浄を行うことで残念なことに災害大国である日本では災害がある限りこの活動は続き、写真に残すことによる思い出の深さも感じる事ができた。

望さんの話を聞いて今までは危機感や恐怖感はなかったけど身近なことだなと感じてとても良かったです。私の地域にも起こるかもしれないと思い対策をしていきたいです。

被災地の方の声を傾聴することの大切さ、被災者にしか知りえないことなどもあるかもしれないが、どう接するべきか、相談し合うことも大事であると思った。

実際に被災地の方のお話を聞いたり、写真洗浄を体験したり、繋がりを感じました。初めて対面で参加することができ、その現地に行かなければ分からないことや、話し合うことの大切さを学びました。また、ボランティアは自発的な行動をするものであることもわかり、これから様々なことにチャレンジしたいとも思いました。

洗浄写真の活動を知ることができて良かった。個人的に参加したいと思った。洗浄写真体験をしていて、アルバムに子供の成長記録のようなコメントが書かれていて、本当に知らない人の思い出に触れているのだなと改めて感じたと共に凄く貴重な経験だなと思った。

まずは、久しぶりにチームのメンバーに会えたことが嬉しかったですし、みんなの顔を見たことで元気がもらえました。そして、今日行った活動の中でも、やはり写真洗浄は印象に残っています。作業をしながらそれぞれの写真を見ていると、どれも思い出に溢れた楽しそうなものばかりで、見ている私も思わず笑顔になってしまいました。ただ同時に、この方々の写真がここにあるということは、多かれ少なかれ被災をしたのだという実感もリアルに湧きました。

この写真洗浄を通し、思い出を鮮やかに保つお手伝いをすることで、私でも被災地の方に貢献できたのかもしれないと思うと少し誇らしいです。

また、望さんのリアルな体験談も心に残っています。被災の経験は辛いものだと思うのですが、彼女の言葉で一つ一つ丁寧に話してくださったことで、私にとっても大きな学びが得られました。私は人見知りをしてしまう方なのですが、今日の研修全体を通して、やはり現地に実際に足を運び、現地の方に直接お話を伺ってみたいという気持ちが強まりました。

被災地域の中でも細かく見ると被災されているところとされていないところがあり、そのギャップで苦しむ方がいることを知った。

ボランティアをする中で相手を理解することは難しくても、心に寄り添うことはできるのではないかと思った。写真洗浄を行い、一つひとつ思い出に触れることで写真の大切さやこの写真に写っている人は今何をしているのかを考えた。

同世代のボランティア活動をする方と交流することは貴重な経験であり、考えを共有しやすかった。

ボランティアをするにあたって、寄り添い共感することが大事だと改めて学んだ。

望さんの災害をみんなに伝えようとする前向きさから、それをしっかり学び何か自分たちに来ることになげたいと感じた。

"被災者"と一括りに言っても、被災の程度は人によって異なり、その中でも精神的なストレスがあるということを知りました。私はまだ現地に足を運んだことはありませんが、今日井上さんの話を聞いたり写真洗浄をしたりすることで少し西日本豪雨の被害や自然災害のことを知れた気がします。写真からはたくさんの方の思いを感じました。細かく記録してきたお母さんの思い、成人式で笑顔を見せる女性の思い、我が子のお遊戯会を見守る家族の思いなどです。写真洗浄という作業があることを今回初めて知ったのですが、やれてよかったと強く思いました。

同年代の被災者の話を聞いたのは珍しく、制服や教科書の話など分かりやすかった。

私は今まで大きな災害にあったことがないのですが、実際に被災した望さんのお話を伺って改めて災害の怖さを感じました。

被災当時のお話という事で、井上望さんの貴重な体験のお話を聞かせて頂きました。お話を聞いて思ったのは、災害は身近なものという事です。いつか目の前の川が溢れて氾濫し家で住めない状態になって、18歳の大学受験生の時に親戚・いとこの家に泊まるなど大変な思いをされていて、私が実際被災したらどうするだろうと感じました。私は大きな災害で被災した経験はありませんが、台風で停電して、母と2人暗い家で工夫して電気が戻るまで試行錯誤した経験があります。その時は自分が手伝える事は手伝いましたが、母に任せていた所がありました。停電や被災の時、1人暮らしをしていた時だったらどうしていただろうとか、1人暮らしをしていく上でしっかり分かって生活できるかなどか思いました。同じ真備町でも被害が違う事を知りました。実際の避難するまで、した時をお話して下さるとても貴重な経験になりました。心に留めて生活します。被災していない私が被災地に行って何ができるのだろうと考えずに、話しかけて行けばいいと写真洗浄の方からも学んだので、現地学習をする時は被災地の方に積極的に話していきます。写真洗浄おたがいさまプロジェクトでは、実際に写真洗浄の“洗い”と“仕上げ”の2行程を体験しました。少し難しかったです。“洗い”は土の付いた写真から土を水で濡らしたスポンジで綺麗にする時スポンジに水が多く付着し濡れてしまいました。いい経験になりました。

衣食住を整えることが正しい災害ボランティアであると考えていたが、写真洗浄や被災地での将棋クラブの開設など、人々の生活の質をあげるための支援も重要であると学べた。

写真洗浄ということを知りました。相手の大切な思い出なのでしっかりと信頼して写真を預けてもらえるような団体じゃないと務まらないなと思いました。

写真洗浄では遠く離れたところでもボランティアを行えることができるのだなと感じた。現地で活動することだけが重要なのではなく、どのような思いで活動していくことが重要なのだなと感じた。

After listening to the experiences and stories of disaster victims, I got a little idea of what it was like to be there at that time. it must be very sad to lose valuables, and not be able to continue schooling. From there, I can learn many things. Then, we did the photo cleaning activity. from that, we know that the disasters also take away the evidence of a person's happy memories.

今回の研修を通して学んだことは2つある。

一つ目は、井上さんのお話を聞いて、ボランティアと言うのは単なるお手伝いではなく、相手の心に寄り添うことが一番大切な事だということだ。ボランティアを単純作業として捉えて物事をなしても、相手の気持ちを理解することができなければ、ちょっとした小さな言葉でも相手を傷つけてしまう恐れがある。相手のことをどれだけ一番に考え、たとえ相手のためにどういった言動を取るのがベストなのかという問いに対しての答えが出なかったとしても、その相手のことを深く考えたという行動は必ず報われるものだと学んだ。

二つ目は、ボランティアの役割について具体的に理解ができた。今現在日本には沢山のサービスや制度が被災した方々を助けるために存在してる。しかし、その制度にはサポートしきれない被災した方々一人一人の心の支援がある。それを満たすのがボランティアなのだと今回学んだ。

岡山で被災した人の話を聞いて、住む場所は本当に考えないといけないと思った。私が住んでる地域は割と災害に強いところだけど、もし、これから引っ越すなら川沿いや土地の低いところはやめようと思った。そして、たまたまその地域に住んでしまったなら、それなりに災害の対策はしないとといけないと思ったし、今でもいつどんな災害に巻き込まれるかわからないから普段から対策や準備はしないといけないと思った。

写真洗浄

こんなボランティアがあることもあまり認識していなかったし、夢中になってついってしまうボランティアだと思った。不定期でも大丈夫そうだし、気軽にできるボランティアでやりたいと思った。写真を見ながら自分の事を思い出したり、ふとこれらがなくなったらどんな気持ちになるだろうと考えた...そしたら絶対ショックだししばらくボーッとしてしまうのは確実だと思った。災害で一番嫌なのは喪失感ってめっちゃわかる気がした。けど、被災者は本当にそれを痛感してるだろうからなんかいたたまれない気持ちになる...

実際に災害を経験した人の話は、これからボランティア活動を進めていく中でとても貴重なものだった。写真洗浄は初めての経験で、全く知らない人の思いを大切にするという活動を体験できたことはいい経験になった。

望さんの被災した話を聞きましたが、体験しなければわからないことが想像以上に多いと感じました。例えば、真夜中に溢れた水が迫ってきていたと仰っていたことです。言葉で聞くだけでも恐ろしいのに、もし自分がその場に居合わせたら真っ暗闇でトラウマになるだろうと思いました。被災者の方の気持ちを完全に理解することの難しさを学びました。そして、写真洗浄の体験をしました。写真洗浄という活動があることを初めて知りました。泥で黄ばんでいたり写真が真っ白になっていたりした被災にあったアルバムを初めて見ましたが、少し被災現場の怖さを感じました。体験中にはお互いさまプロジェクトの方々が優しく教えて下さり、どこまで汚れをとればいいのか悩んでいると、相手のことを思い、悩んでいることが重要だと言ってくださいました。目の前の写真だけでなく、写真の奥の人を想像してどれだけ思いやるかが重要だということも学びました。

岡山の話聞いて、周りの日常が苦痛になるという話が1番印象に残っています。実際に被害に遭っていない私たちが何を言っても苦しませるだけかもしれない、でもそんな人を少しでも減らすために防災を伝えていきたい。そしてその人たちの苦しみを絶対に忘れない。そう強く感じました。

高校生の頃に被災されたとのことでしたが、自分も高校は地元を離れて京都の学校に通っていたこともあり、「自分だけが被災している」という情景が想像出来ました。実際、災害に遭うまでは無かったです台風などの警報と電車の事情から自分含め2人大阪から通う子が学校を休まざるを得ない日が何度かありました。その時は「学校休めてラッキー」くらいにしかなっていませんでしたが、状態が酷ければ酷い程、憂鬱になるだろうなと感じました。

写真洗浄の体験を通して、写真の力を凄く感じました。以前、テレビで東日本大震災のときの事実を写真家として写真で残していらっしゃる方を拝見しました。その方は「自分は救助活動とか出来ないけど、写真で残すことは出来る」と仰られていて、実際それが10年前の状況をリアルに映し出してかなり衝撃を受けたのを思い出しました。人の言葉や気持ちはその時の状態によっても変わるけど、写真は当時の状況をそのままに表しているからこそ伝わるものもあるなと感じました。思い出も同様、当時の思い出は色褪せるものではないし写真から思い出させられることも沢山あると思うので、大切にしたい活動であり広まって欲しい活動だと思いました。

藤崎さんが話の中で言っていたピアノを運ぶ作業で持ち主のおばあさんがその場からいなくなってしまったのはなぜという話がとても印象に残った。

また、写真洗浄の体験では全てを綺麗にするというよりもふちを真っ白にしながらかその写真でどこを残すべきかを考えながら洗浄していくのが楽しかった。ただ綺麗にするよりもそうした相手のことや写真への思いを考えながらすることだと大切だと思った。

他にも実際に真備町で被災された方の話の中で自分はこんなにも大変な状況なのに同じ学校では全く何もなくて普通に生活している人がいるというギャップに苦しんだという話が印象的で実際に当事者になってみないと分からない感覚ではないかと思った。

<p>持ち主の方のお気持ちを考えると、写真一枚一枚に触れるのに、とても緊張しました。私が当事者であれば、写真洗浄のボランティアはとても"救い"だと思います。災害の多い日本なので、より写真洗浄が広まることを強く願います。</p>
<p>写真洗浄がどんなものかわかってよかった。仕上げの作業も大切だということを知って、できるかぎりきれいにできるようにがんばった。写真洗浄がもっと広まればいいなと思った。</p>
<p>自分が考えていたよりも写真の消えてしまっている部分が多く、驚いた。少しでも、この写真の持ち主の方の心の支えになればいいと思う。</p>
<p>今回写真洗浄に初めて参加して、この活動を知らずに写真を捨ててしまった人が非常に多いと聞いて、たくさんの人に認知してもらいたいと感じました。作業は最初はどこを洗っていいのか少し迷ったけど、慣れると楽しいと思えました。また、機会があればぜひ参加したいなと思いました。</p>
<p>防災セミナーや写真洗浄に参加して、周囲にもっと広めていきたいと思いました。また、写真洗浄を通して被害にあわれた方々の想いを感じながら活動することができたので良かったです。</p>
<p>初めてでしたが、とても楽しく、災害支援に関われて良かったです。占いも楽しかったです。</p>
<p>初めての経験でしたが、磨くことでどんどんきれいになっていくのがうれしくもあり、達成感もありました。また、参加したいと思います。</p>
<p>"初参加の方が準備中に来られた時に、皆お話ししながらうちで準備されていると、やっぱり初参加の方は少し心細いと思います。緊張されている方もいると思うので、まずはファーストコンタクトをどなたか一人でも温かくさせてもいいのかなと感じました。SNSの発信時間はよかったと思います。今日の活動を通して、写真洗浄が広まればいいと思います。本日はありがとうございました。 P.S. 7/22明石洗浄に参加して神戸洗浄と比べてなるほど感じたこと ○仕上げの作業の説明用紙があったこと →どこまで写真を残せば良いか迷ったときや、どのような写真が仕上げの最終としてよいのかが写真と説明で載っていてわかりやすかったです。"</p>
<p>写真洗浄は初めてでしたが、本日やった作業は誰でもできるような簡単なものだったので楽しみながらできました。自分にできることを、それが小さくても、今後も自発的に見つけて行動していきたいと思います。ボランティアの皆さんもすごく優しく明るくてとても楽しかったです。また機会があればよろしくお願いします。</p>
<p>少しでも役に立てたような気がして、良かったです。防災セミナーの内容が、初めて知ったことばかりだったし、すごくいい勉強になりました。ありがとうございました。これからも、活動頑張ってください。応援しています。</p>
<p>初めての経験でしたが、優しく教えていただき、楽しみながら作業することができました。防災セミナーも、自分の知見が広がり、災害の際に少しでも行動することができればと思いました。また、誰かを思いながら手を動かすというのは素晴らしいことだと感じました。本日は素晴らしい体験をさせていただき、本当にありがとうございました。また、機会があれば、是非参加させていただきたいと思っています。</p>
<p>素敵な写真の清掃に関わることができて良かったです！また機会があればボランティアにさんかしようかなと思いました。</p>
<p>思い出の写真の洗浄のお手伝いが出来て良かったです。手話の知らないことを聞いて良かったです。</p>
<p>たくさんの写真をきれいにすることができて、楽しかった！プチ防災セミナーで学んだことをぜひ活かしたい！聴覚障害者は心細いんだと思った。</p>
<p>過去に授業の一環として参加させてもらい、思い出（写真）の重さや大切さ、扱い方について深く学びを得ました。そして今日もそれを改めて感じるとともに、一緒に思い出を共有しているような気分になりました。前は思い出を消しすぎないこと、きれいにすることを意識してばかりでしたが「写真の持ち主の思い出」に触れさせていただいていることに気づくことができて良かったです。</p>
<p>神戸市社協のボランティアについて考えるプログラムの一環として、写真洗浄を取り扱って頂き、体験会を実施しました。合計26人の大学生がいる中でメンバーそれぞれが写真洗浄のことを伝えることが出来ました。作業というよりは体験を重視したので1枚を大切に扱ってもらえるよう取り組めたと思います。切り出し・洗い・仕上げすべての工程をみんな行うことができて多くの人に知ってもらうことができて良かったです。オンラインでも2人参加でしたが、オンラインの人にうまく伝えることが出来なかったのが、今後またそういう機会があるときには意識したいところでした。</p>
<p>今回は神戸市社協の方のイベントに参加させていただきました。大学生のボランティアの方と一緒に写真洗浄を</p>

して、こうやって多くの方に広まっていくことを実感し、嬉しくなりました。
難しかった、緊張したという感想や、写真っておもしろい、大切なもの、これからたくさん撮りたいなどの感想もありました。思い出を守る活動を多くの人に知ってもらうことができ、充実した1日になりました(^ ^)

初防災セミナー出来て良かったです。

この日は多くの初参加者が来てくださり、1枚1枚丁寧な作業をしていただき全体で200枚以上の作業を行うことができたので良かったです。

お疲れさまでした。今回は神戸市社協さんとの協同かつ、大学生の方との活動と、今までにないコラボレーションで、たくさんの刺激をもらいました。

今までは、ボランティアをしてみたいという方を相手にすることが多かったのですが、今回はこれからボランティアをしていく方が対象だったので、どう伝えればいいのかを場面ごとによりいっそう深く考え取り組むように心がけました。

大学生の皆さんの前向きで熱心な姿に感銘を受け、自身ももっと向上したいという思いに繋がりました。

彼らがこれから充実したボランティア活動ができることを心から望むと同時に、また一緒に活動できればなと思います。

活動風景



活動動画



おたがいさまプロジェクトYouTubeを御覧ください。
<https://www.youtube.com/channel/UC74ms460Lsje4Agy4i10G6A>